

令和7年4月8日

ドクターヘリ基地病院  
運用管理責任者各位

一般社団法人日本航空医療学会  
理事長 猪口貞樹

### 福岡和白病院の医療搬送用ヘリの航空事故に関する理事会見解

平素は各地域ドクターヘリ（以下「DH」）の運用にご尽力いただき、感謝申し上げます。

皆様ご承知のように、本年4月6日、福岡和白病院の医療搬送用ヘリが患者搬送中洋上に着水・転覆する航空事故が起こり、搭乗していた医師、患者さんおよびそのご家族の3名が命を落とすという痛ましい事態となりました。

本航空事故につきましては、運輸安全委員会による事故調査が行われて原因が解明されると考えられますが、結論に至るまでには相応の時間をするものと思われます。

このため日本航空医療学会理事会（以下「理事会」）は、現時点において各基地病院にお願いすべき妥当な対応につき検討いたしましたので、その結果をお伝えいたします。

#### 1. 経緯

福岡和白病院の医療搬送用ヘリ（JA555H）が患者搬送中洋上に着水・転覆しているところを発見されました。同機の型式はユーロコプター社 EC135T2型、乗員は医療クルーおよび患者・家族を含め6名、うち操縦士、整備士、看護師は無事救助されましたが、医師、患者およびその家族は発見時心肺停止状態であり、その後死亡が確認されました。

事故の原因は現在調査中であり、不明です。しかしながら状況からは、機体に何らかの問題が生じて制御困難となり、洋上に着水のうえ転覆した可能性が想定されるため、同型のEC135に対して十分な点検・整備を実施することが望ましいと考えられます。

本件事故を起こしたヘリはDHではありませんが、医療搬送中の死亡事故であり、DH搬送でも患者さん自身に同様の死亡事故リスクがあること、搭乗する医療クルーは患者さんよりも搭乗頻度が高いため、より大きな死亡事故リスクを負っていることが再確認されました。またこの事故が、今後DH搬送される患者さんや医療クルーへの心理的圧力にならないよう配慮する必要があります。

理事会と致しましては、このような状況を考慮し、本件事故の原因が解明されて再発防止策が実施されるまでの間、以下の安全対策を実施いただきたいと考えております。

①EC135の再点検・整備：事故機と同じユーロコプター社（現エアバス社）EC135型機

を使用している基地病院におかれましては、委託運航会社および製造会社ともよく相談頂き、同機体の再点検・整備を十分に行うことを推奨いたします。この際に必要があれば、DHの一時運航休止をご検討ください。なお、事故原因が解明されるまでに一定期間を要する可能性がありますので、その後の運航につきましては、各基地病院のご判断にお任せいたします。

②要請基準と運航要領の確認：DHによる診療・搬送は、安全面を考慮したうえで、救急車による陸上搬送に比べて医療上、患者さんに有利である必要があります。この点を踏まえ、要請基準と運航要領を確認のうえ、必要に応じて見直しを行ってください。また、現場ランデブーポイント上空での待機時間も過剰にならないよう、併せてご検討ください。

③搬送患者の意志確認：DHの搬送対象となる症例の多くは、全身状態不良のため、DH搬送の可否を自己判断できない状態と推測いたします。従ってDH搬送は、可能であれば本人の意志確認を行うが、困難な場合にはご家族の同意を得て行うこと、またいずれも困難な場合には、主治医が医学的妥当性に基づいて判断し、その旨を診療録に記載するよう、お願ひいたします。

④患者家族のDH同乗制限：患者さんのご家族等の関係者は、原則としてDHへの同乗を避け、他の方法での来院をお願いしてください。ただし、ご家族の不在が治療方針の決定に大きな支障をきたす場合は、この限りではありません。

⑤医師・看護師の搭乗意志の確認：DH運用管理責任者におかれましては、全医療クルー（医師・看護師など）に対して、DHに搭乗する意志があるか否かを改めて確認のうえ、搭乗を希望しないものは搭乗させないよう、またそのことで本人に不利益が生じないよう、十分な配慮をお願い致します。

⑥水上への緊急不時着時の訓練について：本件のようなヘリコプターの水上への緊急不時着時には陸上とは異なった準備行動や水面・水中からの脱出方法を身に付ける必要があります。このため、洋上飛行を行う地域の医療クルーにはこれに対応するための訓練（ヘリコプター乗員向け不時着対応訓練）の受講を推奨いたします。しかし、この訓練を行うためには大掛かりな水中脱出訓練装置が必要であり、本学会が直接訓練を実施するのは困難です。本邦においてはこの訓練が可能な施設は限られており、費用も高額であることから、本学会と致しましては、訓練施設の紹介、費用の一部負担などについて、検討を進めてまいります。

⑦福岡和白病院とエス・ジー・シー佐賀航空へのヒアリング：いずれも現在は混乱した状

況と考えられます。少し時間を経て状況の安定を確認のうえ、ヒアリングを検討いたします。

## 2. 今後の対応

運輸安全委員会により状況や原因が明らかになった場合、その他の緊急事態が発生した際には、遅滞なく各基地病院へご連絡いたします。各基地病院におかれましても、問題が発生した際には、学会事務局へご一報いただければ幸甚です。

以上